

野菜の生育状況及び価格見通し（平成28年10月）について
 （東京都中央卸売市場における主産地及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	だいこんは、8月の台風による湿害に伴い、肥大不足となっている。また、8月下旬の降雨による発芽不良等が発生。 にんじんは、8月の台風による湿害に伴い、肥大不足となっている。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	はくさい、キャベツ、ねぎ及びレタスの生育は平年並み。 ほうれんそうは、9月上中旬の降雨により播種が遅延し、発芽不良が発生。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	きゅうり及びピーマンは、9月中旬以降の日照不足により、着花・着果数量が減少。 なす及びトマトは、8月中下旬の日照不足により、着果数量が減少し、9月中旬以降の日照不足により、肥大不足となっている。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	ばれいしょは、6月の長雨や8月の台風による湿害に伴い肥大不足となっており、小玉傾向。 さといも及びたまねぎの生育は平年並み。

（各論）

品 目	主産地 〔※（ ）書きは 27年10月の 入荷シェア〕	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			10月前半	10月後半
だ い こ ん	北海道(31%) 青 森(29%) 千 葉(27%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月は、北海道及び青森県において、8月の台風による湿害に伴う肥大不足により、出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。 ・ 現在、北海道において、生育が回復傾向であるものの、青森県において、8月の湿害による影響が残り、千葉県において、8月下旬の降雨による発芽不良等により、<u>10月は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移

にんじん	北海道(91%)	<ul style="list-style-type: none"> 9月は、北海道において、8月の台風による湿害に伴う肥大不足等により、出荷数量が平年を下回ったため、価格は平年を上回って推移。 10月も、この影響が残ることから、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
はくさい	長野(68%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 長野県及び茨城県において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
キャベツ	群馬(53%) 千葉(17%) 岩手(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県、千葉県及び岩手県において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
ほうれんそう	群馬(38%) 茨城(18%) 栃木(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県、茨城県及び栃木県において、<u>9月上中旬の降雨による播種の遅延や発芽不良により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
ねぎ	青森(21%) 北海道(17%) 秋田(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 青森県及び北海道において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
レタス	茨城(54%) 長野(29%)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県及び長野県において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
きゅうり	埼玉(27%) 群馬(23%) 福島(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県及び福島県において、生育が平年並みであるものの、群馬県において、<u>9月中旬以降の日照不足により、着花・着果数量が減少したことから、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
なす	高知(35%) 栃木(21%) 群馬(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 高知県において生育が平年並みであるものの、<u>栃木県及び群馬県において8月中下旬の日照不足により、着果数量が減少したことに加えて、9月中旬以降の日照不足により肥大不足となったことから、10月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 栃木県及び群馬県において、<u>10月後半に収穫時期を迎える着果数量が平年並みであることから、今後天候が平年並みに推移すれば、10月後半は出荷数量、価格ともに平年並みに回復</u>する見込み。 	高値水準 で推移	平年並み に回復

トマト	千葉(21%) 茨城(14%) 青森(13%)	<ul style="list-style-type: none"> 青森県において生育が平年並みであるものの、<u>千葉県及び茨城県において8月中下旬の日照不足により、着果数量が減少したことに加えて、9月中旬以降の日照不足により肥大不足となったことから、10月前半は出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 千葉県及び茨城県において、<u>10月後半に収穫時期を迎える着果数量が平年並みであることから、今後天候が平年並みに推移すれば、10月後半は出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。</u> 	高水準 で推移	平年並み に回復
ピーマン	茨城(54%) 岩手(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県及び岩手県において、<u>9月中旬以降の日照不足により、着花・着果数量が減少したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高水準 で推移	高水準 で推移
ばれいしょ	北海道(100%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道において、<u>6月の長雨や8月の台風による湿害に伴う肥大不足により、小玉傾向となったこと等から、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高水準 で推移	高水準 で推移
さといも	埼玉(46%) 千葉(30%)	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県及び千葉県において、<u>生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並み で推移	平年並み で推移
たまねぎ	北海道(97%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道において、<u>8月の台風に伴う収穫遅延や流通障害等があったものの、生育が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並み で推移	平年並み で推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。